

## 留学報告書

留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	エドモンズコミュニティカレッジ
留学期間	2018年8月～2019年6月
留学を開始した時の学年	2年生

### 留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	60万円
保険料	10万円
宿舍費（1か月あたり）	7万円
食費（1か月あたり）	5万円
渡航旅費	40万円

### 滞在形態関連

1) 種類
寮。
2) 部屋の形態
個室，相部屋。
3) 設備
シャワー，お風呂（浴槽），トイレ，エアコン，キッチン，ランドリー，インターネット環境，掃除機。
4) 住居を探した方法
留学先大学の指定。

### 現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？
いいえ。
2) 現地で病院にかかったことはありますか？

いいえ。
<b>3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？</b>
いいえ。
<b>4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？</b>
いいえ。
<b>5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？</b>
留学先の友人、日本にいる友人や家族、大学のカウンセラー、大学の留学担当窓口。
<b>6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？</b>
個人的には治安はかなり良い方だと思いました。しかし、学校の周辺でレイプ事件があったりと、女性にとっては少し安全ではない場所だと感じました。現地の危険地域情報は外務省から届くメールを参考にしていました（在留届を出せば届く）。窃盗の被害を受けたことは一度もありませんでしたが、図書館で勉強しているときなどにトイレに立つ際は財布などの貴重品を持っていくことを忘れないようにしました。
<b>7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？</b>
寮のインターネット接続は比較的安定していました。パソコンも携帯電話も不自由なく使えました。
<b>8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？</b>
渡航前にクレジットカードとキャッシュパスポートを作りました。キャッシュパスポートは現金を引き出すこともできるため重用しました。現地で銀行口座は開設しませんでした。
<b>9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？</b>
寮の近くに食料品店やアジアンスーパーがあったため不便はありませんでした。バスを使えばダイソーでも買い物をすることが出来ました。ワシントン州は日本人がたくさん住んでいるので基本的に日本の食品は何でも揃います。しかし高いです。
<b>10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？</b>
キャッシュパスポート。
<b>11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。</b>

## 渡航について

**1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？**

留学先大学のピックアップサービス。
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？
はい。一週間。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）
<b>履修した授業科目名</b>
Music Fundamentals
<b>授業内容や試験、授業を受けた感想について</b>
音符やリズムの読み書きなどの音楽入門。週に一度ピアノを練習する日もありました。私はこれまで音楽に一切触れてきませんでした。そんな私でも授業についていくことが出来ました。先生の教え方がとても丁寧であった印象が強いです。おかげでピアノが好きになりました。新しい挑戦が出来てよかったです。

<b>履修した授業科目名</b>
United States History
<b>授業内容や試験、授業を受けた感想について</b>
アメリカ史。第一次世界大戦から冷戦までを勉強しました。試験は授業でやった事柄を選択肢で出されます。また、歴史上の出来事から一つトピックを選んでみんなの前でプレゼンテーションをする課題もありました。今まで日本の視点からしか歴史を学んだことがなかったため、アメリカ側から見た歴史というものに面白さがありました。

<b>履修した授業科目名</b>
International Studies
<b>授業内容や試験、授業を受けた感想について</b>

世界の国々の文化について勉強するのかと思いきや、昔の時代の経済がどのようなであったのかを学ぶという、歴史と経済が合わさった授業です。試験は歴史上の史実から一つテーマを選んでそれについて調べて紙にまとめる課題や選択肢型のペーパーテストでした。歴史と経済が合わさるという授業は海外の大学ならではの授業であり、とても面白かったです。

## 留学体験記

<p>留学しようと思った理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>私が留学しようと思った主な理由は自分の英語をもっと伸ばしたいと思ったからです。日本でも英語は伸ばすことは可能であると言う人もいますが、そのモチベーションを保つのはとても大変だと思いました。やはり海外に出てみたほうが、英語が話せないと何もすることが出来ないし、そうした必要性に駆られて、英語を勉強しようという気持ちを常に持ち続けることが出来るだろうと思い、留学しよう決めました。エドモンズコミュニティカレッジは、コミカレの中でも数少ない、学生寮がある学校でした。寮住まいの方が友達がたくさん出来そうだったのはこの学校を留学先に選んだ一つの理由です。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>渡航した年の3月くらいから留学先からたくさんの資料の提出を求められ準備を始めました。留学前にしておけばよかったことは、留学する直前までに TOEFL を受け続けて、72 点以上とっておけばよかったと思いました。私の留学先は求められる TOEFL のスコアが 56 点と低かったのですが、その分取れる授業の幅が狭く、自分が受けたいと思っていた授業をすぐに取りることが出来ませんでした。TOEFL で 72 点以上取れていれば受けられる授業の幅が大きく広がるので、エドモンズにこれから留学する皆さんには TOEFL 72 点を渡航前までに取ることをおすすめします。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>自分は高校時代に 2 週間だけイギリスに短期留学をしたことがあったのですが、10 か月の長期留学は初めてだったので、インターネットで「長期留学 持ち物」と調べて、そのウェブサイトを書いてあったことを参考にパッキングをしました。留学中に困ったことは、学校で聞いたり、英語の流暢な友達に相談したりしたので、書籍やウェブサイトなどを使ったりはしませんでした。ただ、外務省に在留届を出すと、外務省から現地の治安の状態についてメールが届くのでこれはとても役に立ちました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)</p>	<p>大学・学生の雰囲気は日本と真逆で最初はとてもびっくりしました。例えば、授業で先生が話しているときに生徒が先生をさえぎって自分の意見を言い始めるようなことは日常茶飯事です。アメリカの学校では、自分の意見を発信することが一番大切であるとされているような、そんな印象を受けました。私自身そのような積極的な授業の参加の仕方に憧れを持っていたので、そういった大学・学生の雰囲気は自分の授業を受ける強いモチベーションに</p>

	<p>なりました。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>私が滞在していたシアトルは、ロサンゼルスやフロリダのような他のアメリカの地域よりも住んでいる人たちが落ち着いている印象を受けました。アメリカには珍しく一年中雨が降っているようなシアトルの特殊な気候が影響しているのかもしれませんが。ただ、外国人の出入りがとても激しい地域であるので、現地の人々はみんな多様な文化に寛容で、人種差別を受けた経験は私の覚えている限りでは一度もありませんでした。とても居心地の良い場所です。</p>
<p>留学先における交友関係</p>	<p>エドモンズコミュニティカレッジは留学生の数がとても多いです。そのため、アメリカ人と仲良くする機会はあまりありませんでしたが、様々な国から来た留学生と仲良くすることが出来ました。中国人、韓国人、フランス人、ドイツ人、ベトナム人、インドネシア人など国籍は様々です。私は当初アメリカ人と仲良くしたいと思っていたので、その願いはかないませんでした。結果的にはとても満足しています。現地の人々と仲良くしたい方にはあまりお勧めできません。</p>
<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>アメリカに来た当初は、いろいろなことが初めてで毎日が大変だったことを覚えています。英語も満足に話すことが出来なかったので携帯電話の契約も一苦労でした。また、日本では当たり前のようにお風呂に入ることが出来たのに、アメリカではシャワーを浴びるだけ。その事実を知った時の絶望感といったら何とも言えません。お風呂がとにかく恋しかったです。あと、私は寮暮らしであったので、自炊や洗濯など身の回りのことをすべて自分でしなければいけなくなったことも最初は苦痛でした。</p>
<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>日本の大学とは違って、アメリカの大学の授業では毎回の授業で課題が出されます。私の場合は、その日の授業が終わったら図書館に行って課題を終わらせるという生活をしていました。留学した当初は、先生が授業で話している英語も全然聞き取れなかったので、授業が終わるたびに先生のところに行って、課題の内容や試験について質問をしていました。試験は基本的にはエッセイを書くものなのでそこまで苦労したという記憶はないと思います。</p>

<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>留学した当初は、毎週末シアトルのダウンタウンに行って観光していました。日本とは真逆の文化を体験するのはかけがえのないものになりました。また、アメリカ人はパーティ好きなので、毎週のように友達の家でパーティがあって、積極的に参加していました。そういったパーティに参加することで英語力を高める機会を得られます。そして、アメリカの遊びは日本のものに比べてとても原始的で、サッカーをしたり、鬼ごっこをしたり、フリスビーをしたり、私が小学生のころにやっていたことをしていました。でもこれがとても楽しかったです。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>留学先の基準の TOEFL スコアを達成するために英語を勉強したり、面接の練習をしたり、留学先に大量の書類を提出しなければいけなかったりと、面倒なことばかりですが、その成果は必ず自分に返ってきます。日本を出て異国で生活して勉強をするということはとても刺激的で、10か月の留学を通して、自分の物事に対する捉え方が変わり、前よりも日々を過ごすのが楽になりました。自分は留学を終えて誰もが留学してほしいと思うようになりました。そのくらい留学することは素晴らしいので頑張ってください！</p>